

14

新たな時代の人づくり推進プロジェクト

概要

本県の将来を担い、未来を切り拓いていく若者たちが、困難な課題に果敢に挑戦し、乗り越えていく力を備えることができるよう、市町、学校、地域、関係する施設や団体、企業等と連携・協働しながら、新たな時代に対応した人づくりを推進する

重点策

- 46 生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進
- 47 ふるさと山口への誇りと愛着を高める取組の推進
- 48 新たな価値を創造する力を育む取組の推進
- 49 誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進
- 50 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進
- 51 新たな時代の人づくりを支える体制の充実
- 52 豊かな心、健やかな体の育成

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★(計画を上回る)		
	★★★(ほぼ計画どおり)	3	高校生等の県内就職割合、大学等が実施するPBL取組件数 等
	★★(計画を下回る)	2	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 等
	★(計画から大幅に遅れ)	4	県主催の保育者対象の研修会等において研修の目標が達成できた参加者の割合 等

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	山口県の将来を担う子ども・若者を育成する取組や教育環境の充実が進んでいると思いますか。	14.7	44.2	39.5

(3) 主な取組と成果

◆生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進

- 乳幼児の育ちと学び支援センターの取組の周知や研修形態の工夫等により、**設置当初より、全研修会数は約 1.7 倍、全研修受講者数は 1.8 倍、全配信視聴者数は 3.6 倍、幼児教育アドバイザー等の訪問・研修回数は約 17 倍、参加人数も約 26 倍**に増加
- 保育所・幼稚園等における**多様性に配慮した施設等の整備**を推進 (R5～)

◆新たな価値を創造する力を育む取組の推進

- **グローバル人材の育成**に向けて、他国の社会や文化等を体験するグローバル探究プログラム等を含む東部地域グローバル人材育成事業を実施するとともに、**ハワイ州教育局との教育分野の協力に関する覚書に基づいた学校間交流**を実施
- **ICT活用コンテスト**や、**高校生データサイエンティスト育成講座**を開催し、**ICTスキルの向上やトップレベルの人材をめざす意識を醸成** (R5 高校生 ICT活用コンテスト応募件数 33 件、U18 デジタルアートコンテスト応募件数 121 件、ジュニアプログラマーコンテスト応募件数 99 件、高校生データサイエンティスト育成講座受講生徒数 28 名)

- 高校生を対象に、地域医療や地域課題をテーマとしたセミナーや先端研究を体験するプログラム、ハイレベル課外授業等を実施し、医学部進学を希望する高校生等、志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会を充実（R 5 メディカル・フロンランナー育成コース 58 名参加、アドバンスト・フロンランナー育成コース 25 名参加）
- 探究的な学びの質を高めることをめざし、「**県教委が独自に開発した教育プログラム**」の総合的な探究（学習）の時間等での活用を促進（R 5 公立高校の 47.9%が活用）
- 高校生が地域課題の解決に向けて、**大学生や社会人と協働して実践型探究を行うプログラム**の実施や、実践してきた活動を振り返り、互いに学び合う「**やまぐち探究サミット**」を開催（R 5 参加数 35 プロジェクト、22 校、124 名）

◆誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進

- **1 人 1 台端末を活用した小中学校における日本語指導**を充実させるとともに、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等による日本語教育サポート等を支援（R 5 山口県立大学と連携した遠隔・オンライン日本語指導によるサポート人数 5 人）
- 経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づき学びを追求できるよう支援するとともに、県内で活躍する人材の確保を促進するため、**奨学金返還補助制度**を創設

◆地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進

- **総合支援学校における地域交流スペースを活用したカフェ運営や販売活動等の充実**により、児童生徒が地域や社会とのつながりを実感できる実践的・体験的学習活動を着実に実施
- **全ての総合支援学校において、近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組**を継続
- **全ての県立高校等**が広く社会と連携した**学校・地域の課題解決を図る取組**を実施
- 「**県立高校再編整備計画 前期実施計画**」に基づく**県立高校の再編整備を推進**するとともに、再編整備に伴う**必要な施設整備に着手**（R 5 着手件数 4 件）
- 山口大学、山口県立大学及び山口学芸大学が設立した「**大学等連携推進法人**」が令和 7 年度からの SPARC 教育プログラムの本格実施に向け、**DX をテーマとした PBL（課題解決型学習）**を試行実施（R 5 参加学生数 58 名、取組テーマ数 21）

◆新たな時代の人づくりを支える体制の充実

- 山口県学力定着状況確認問題を **CBT で実施**し、個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を引き続き実施
- カリキュラム・マネジメントの推進・充実を図るため、「**カリキュラム・マネジメントの手引き（実践編）**」の活用を推進
- 校務のさらなる効率化に向け、令和 4 年度に全県立高校等で導入した「**統合型校務支援システム**」を運用
- 教員採用試験の改善や教職員人材育成基本方針の改定について検討するなど、**教員養成・採用・研修の一体的取組**を順調に推進（R 5 検討協議会 4 回開催）
- **東京大学先端科学技術研究センター**の最先端の学術的知見やノウハウを活用し、子どもたちが身近なことから主体的な学びにつなげるプログラムや、障害の有無にかかわらず、志を持ちチャレンジする力を育むセミナーやワークショップを開催

- 民間団体等が推進方針に沿って実施する**学校や企業等と連携・協働して行う新たな取組**を支援（Ｒ５補助採択件数 10 団体／申請数 17 団体）

◆豊かな心、健やかな体の育成

- 県内 22 校の中学校に通常での学習や集団での生活が困難となった生徒のための教室「**ステップアップルーム**」を設置し、専属教員（サポート教員）による個別支援を実施
- 博物館や図書館等の社会教育施設において、**デジタル技術を活用した鑑賞機会の拡大**や**電子図書サービス**を充実（Ｒ５ 博物館所蔵資料のデジタル・アーカイブ化 411 件（累計 1,316 件）、図書館における電子書籍導入 380 点（累計 4,824 点冊））

（４）総評

子ども家庭や保育者に対する支援体制の充実や、地域と連携した探究活動の活性化、デジタルを活用した学びの機会の充実など、発達の段階に応じた人づくりの取組を着実に進めているが、本県の将来を担う子ども・若者たちが、その持てる力を最大限に発揮できるよう、学校や行政、地域、企業、団体等の連携の下、多様かつ質の高い学びを提供できる環境・体制づくりを県全体で進めていくことが求められる。

（５）課題と今後の展開方向

◆生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進

- 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進に向け、調査研究の体制整備や研修会の開催に取り組むとともに、保育者の専門性向上のため、乳幼児の育ちと学び支援センターと山口県立大学の子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所との連携等により園の特性に応じた効果的な園内研修に向けた助言や訪問支援を実施することで、研修満足度を向上させる必要がある。
- 保育者が子ども主体の保育業務に注力できる体制や環境を整えるため、保育補助者・支援者の確保に向けた支援や、ICT の活用等による業務改善を推進する必要がある。
- 生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育・保育の場において、誰もが等しく育ち、学び、遊べる環境を作るため、多様性に配慮した施設等の整備を推進する必要がある。
- 安定的な人材の確保を図るため、保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修等を実施する必要がある。

◆新たな価値を創造する力を育む取組の推進

- 大学や産業界等が連携・協働し、データサイエンスや PBL など時代や社会の変化に対応した教育プログラムを充実させることにより、高等教育機関の教育・研究水準の向上を図る必要がある。
- 地元企業や異なる学科と連携・協働した起業体験活動を一層推進していく必要がある。
- ICT 環境を活用して、学校と連携先とをオンラインで繋ぐ取組や、「インターンシップ推進事業」の活用を促すこと等により、体験的なキャリア教育を推進する必要がある。
- グローバル人材に必要とされる総合的な英語力に加え、国際協調・協力を実践する態度等を育む教育活動を一層推進するとともに、世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点の両方をもつ人材の育成に向け、探究機会を一層充実させる必要がある。
- 児童生徒を取り巻く環境が大きく変化し、不登校児童生徒数は増加傾向にあることから、児童生徒の主体的活動や心を育てる教育等を推進するとともに、教育相談体制の充実や生徒一人ひとりの状況に応じた学びの場の確保など、いじめ・不登校対策の一層の強化を図る必要がある。

- 保育所等の利用を希望する医療的ケア児などの受入体制整備のため、看護師等専門職員の配置を支援する必要がある。
- コミュニティ・スクールを核として、障害及び障害者理解を深めるために、地域住民や大学・企業等の参画を得て実施する交流及び共同学習を推進するとともに、地域交流スペースを活用したカフェ運営や販売活動等の実践的・体験的な学習活動を更に推進していく必要がある。
- 地域連携教育の再加速に向け、新たな推進体制の整備や子どもと大人が学び合う場の創出、地域学校協働活動の推進などに取り組むことにより、希薄化した人と人とのつながりを取り戻し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する必要がある。

◆地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進

- 各私立学校において特色ある教育を推進するため、教育条件の維持・向上や生徒に係る修学上の経済的負担の軽減、環境整備等の支援の充実を図る必要がある。
- 令和4年3月に策定した「山口県立大学将来構想」の推進に向けて、国際文化学部再編に伴い令和7年度に新設される情報社会学科や高大連携の推進強化に向けた附属高校の設置等に取り組み、本県が必要とする人材の育成や若者の県内定着を図っていくとともに、地域・企業との共創の場を充実させることが必要である。
- ICTの効果的な活用を促進し日常化することで、教育の質のさらなる向上を図るとともに、教育データの活用によるエビデンスに基づいた学校教育の変革等、デジタル技術とデータを活用して知見の共有と新たな教育価値の創出をめざす教育DXを推進していく必要がある。
- 家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の視点から学習指導要領を踏まえた教育活動のさらなる充実を図り、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進する必要がある。

◆新たな時代の人づくりを支える体制の充実

- 地域資源の魅力を活かしたプログラムや地域で活躍している大人との世代を超えた協働的な学びを実施することにより、ふるさと山口への誇りと愛着を高め、「憧れの連鎖」の創出を促す必要がある。
- 子どもたちを取り巻く環境が大きく変わる中、子どもたちが持てる力を十分に発揮し、豊かな人生を送ることができるよう、ウェルビーイングの観点にも着目しながら人づくりを進めるとともに、県下の様々な学びの現場に広げ・定着させていく必要がある。

◆豊かな心、健やかな体の育成

- 児童生徒の体力向上や運動習慣の改善に向け、スポーツ医・科学の専門家との連携や、ICTを効果的に活用した授業改善、WEBを活用した啓発活動など、学校・家庭・地域が一体となって、体力向上に向けた取組を推進する必要がある。
- 次代を担う全ての子ども・若者が、その能力を最大限に発揮して「志」を育み、行動していくことができるよう、「新たな時代の人づくり推進方針」に沿って多様な主体との連携・協働を図りながら、人づくりの取組をさらに進めていく必要がある。

(参考) 令和6年度の主な新規・拡充取組

新 幼稚園人材確保総合対策事業

幼稚園人材の安定的な確保と幼児教育の質の更なる向上のため、私立幼稚園が実施する処遇改善や一種免許状の取得促進等を支援。

新 新たな時代の人づくりウェルビーイング向上事業

ウェルビーイングの観点を「人づくり」に取り入れ、子どもたちの自己肯定感や多様性の理解等の育成・向上を図る。

拡 新たな学びの場創出事業

地域で活躍する大人との対話を通じて、自らキャリアを構築する力を育成する場や、地域資源を活用し、子どもたちの自由な発想や好奇心を高める学びの場を創出する。

新 やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

海外留学に向けた機運の醸成や、海外に短期留学する高校生への留学経費支援を通して、世界に羽ばたく人材を育成するとともに、米国スタンフォード大学と連携した取組により、英語による発信力の向上や国際感覚の涵養等を図り、将来の山口県を担うグローバル・リーダーを育成する。

拡 やまぐちスマートスクール構想推進事業

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」のさらなる推進を図るため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力の向上に取り組む。

新 生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業

生成AI・学習アシスタントアプリを活用することにより、個に応じた学習支援を充実させることで、家庭における「学び」と学校における「学び」の好循環を創出し、子どもの「主体的に学習に取り組む態度」「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。

新 地域の見守りにDXを！デジタル安全マップ構築事業

児童生徒の自らの命を守る力を育成するため、1人1台タブレット端末を活用し、児童生徒が作成する安全マップをデジタル化することで、学校安全に係る情報の共有、活用の推進を図る。

拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組推進

中学校において、通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒のための教室「ステップアップルーム」に、指導経験豊富な専属教員（サポート教員）を配置する。

拡 教員業務支援員配置事業

教員の長時間勤務を改善し、持続可能な指導・運営体制の更なる充実を図るため、教員の事務的業務を補助する教員業務支援員を配置する市町を支援するとともに、県立高校等に配置する。

新 乳幼児期からの読書活動応援事業

乳幼児期における読書習慣を形成し、子どもたちの不読率を低減するため、県内の幼稚園・保育所等へ図書環境整備や読み聞かせに対する意識醸成を図ることで、読書活動を充実し、本に親しむ機会を創出する。

新 プロスポーツチームとの連携による体力向上推進事業

子どもの体力向上・運動習慣の定着、改善を図るため、プロスポーツチーム、民間企業等のリソースを活用し、学校や保護者、地域住民と一体となって、運動への興味・関心や運動の重要性に関する意識啓発の取組を推進する。